

令和5年度

教育委員会活動の点検及び評価報告書

令和6年11月

京丹後市教育委員会

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第二十六条の規定に基づき、令和5年度の教育委員会の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

京丹後市教育委員会委員名簿（令和5年度末現在）

職 名	氏 名
教育長	松 本 明 彦
教育長職務代理者	野 木 三 司
委員	関 美 幸
委員	田 村 浩 章
委員	安 達 京 子

目 次

○自己点検・評価について	1
○教育に関する学識経験者の意見	3
I 教育委員会の活動状況	
1. 教育委員会の開催状況	9
2. 教育委員会委員の主な活動	14
II 施策評価・進捗管理調書	
【重点目標1】就学前の子どもの教育・保育環境を充実します	17
① 就学前教育の環境整備	
② 保育所、認定こども園及び小学校の連携強化	
【重点目標2】確かな学力・生き抜く力を育みます	28
① 小中一貫教育の推進	
② 学校園、家庭、地域の協働による教育力の向上	
③ 確かな学力の育成	
④ 社会を生き抜く力の育成	
【重点目標3】子どもを健やかに育む教育環境を充実します	43
① 子どもの安全・安心の確保	
② 学校施設環境等の整備充実	
③ 個に応じた支援体制の充実	
④ ボランティアによる学習支援の推進	
⑤ 教職員が子どもと向き合える環境づくりの推進	
【重点目標4】豊かな人間性・社会性を育みます	66
① 人を思いやり、尊重する社会性の育成	
② 生徒指導体制、教育相談体制の充実	
③ 家庭・地域の教育力の向上	
④ 文化芸術を通じた豊かな感性、情緒の育成	
【重点目標5】生涯にわたる豊かな学びを支援します	77
① 生涯学習の体制づくり	
② 人権教育の推進	
③ 社会教育施設等の整備充実	
【重点目標6】歴史・文化芸術を活かし、豊かな感性と郷土への愛着と誇りを育みます	90
① 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実	
② 地域の文化財の総合的な保存と活用	
③ 資料館施設等の整備充実	
④ 文化芸術活動の推進	
【重点目標7】たくましく健やかな体づくりと生涯スポーツを推進します	99
① 健康な体づくり	
② 食育の推進	
③ 地域スポーツ活動の推進	
④ 競技力の向上	
⑤ 社会体育施設等の整備充実	
⑥ スポーツ観光のまちづくり	
III 学校評価自己評価	
学園毎評価・学校評価自己評価	
1. 学園小中一貫、こども園、学校評価自己評価報告一覧	110
2. 学園小中一貫教育報告書	114
3. 学校評価自己評価報告（こども園、小・中学校）	144

令和5年度の教育活動を振り返って

令和5年度の教育行政は、京丹後市教育振興計画の基本理念に基づき、京丹後市が目指す教育「心豊かにたくましく 幸福な未来を切り拓く力を育む教育」「ふるさとへの愛着と誇りを持ち 新しい価値を創りだす力を育む教育」の実現に向け、さまざまな教育施策を推進してきました。

京丹後市の最も重要な教育振興策である「保幼小中一貫教育」も8年目を迎え、6つの学園が特色を生かしながら、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指す教育活動に取り組みました。

子育て支援関係では、子ども未来課内に設置した子ども家庭総合支援拠点が子育て世代包括支援センターや関係機関と連携を図り、子どもや家庭の相談支援及び児童虐待の防止等に努めました。ヤングケアラー関係では、市内小中学校を対象に実態調査を実施し、児童生徒への支援に向けての取組を行いました。公営の保育所、幼保連携型認定こども園では、保育業務支援システムを活用し、保育業務の負担軽減や、保護者連絡の利便性の向上を図ることができました。また、放課後児童クラブは峰山放課後児童クラブを1クラスから2クラスへ拡充し、子どもたちの安全・安心な放課後の健全な育成に取り組みました。網野地域子育て支援センターについては、登録者のクラス分けをすることなく自由に利用できる環境を整備し、子育て支援の充実を図っています。さらに、地域で子育て支援に取り組む環境づくりを進めるため、子育て支援団体の活動や子育て支援イベントの実施に対して補助金を交付して支援を行ったほか、市内の事業所等が行う授乳用設備等の整備に要する経費を助成し、子育て支援環境の充実に努めました。

学校教育関係では、地域素材を活用した探究的な学習「丹後学」など、特色ある教育活動を推進し、時代の変化や技術革新、グローバル化の進展を踏まえ、従来の教育活動を実質的かつ体系的なものとして進化させる必要があると考え、「京丹後市の新たな教育・人材育成に関する在り方検討会」を設置し、有識者や学校関係者との意見交換を行いました。令和6年1月末には、「京丹後市の新たな教育・人材育成に関する在り方検討会最終まとめ」を公表することができ、子どもに関わる関係者全てが主体性をもって取り組むことによって子どもの変革につながることを確認できました。また、学校適正配置基本計画に基づき、令和6年度から複式学級の発生が予測されていた吉野小学校について、弥栄小学校への適正配置に向けた学校づくり準備協議会を立ち上げ、1年間の準備期間を経て適正配置が行われました。また、既に複式学級が発生している宇川小学校と、その発生が予測された長岡小学校でも保護者や地域住民に対する説明会を開催し、計画に対する理解を深める取り組みを行いました。グローバル人材育成事業では、中学生海外派遣事業やオンライン留学を実施し、語学力の向上や国際的視野を持った人材の育成を目指しました。また、英語力向上アプリ「ELSA

Speak」の全中学校生徒への導入や探究型ワークショップの開催により、創造性や自己肯定感の向上、キャリア意識の変革、STEAM分野への興味関心の向上などの成果も確認することができました。

学習環境の整備では、令和5年度に全ての小学校のトイレ洋式化が完了し、中学校においても令和5年度からトイレ洋式化工事に着手し、令和6年度に完了する予定など教育環境の整備に努めました。また、国のGIGAスクール構想に基づき、全小中学校に整備した高速校内LAN環境及び、児童・生徒・教職員1人1台のタブレット端末の活用を推進するとともに、学校だけでなく家庭学習においてもタブレットを有効活用するため、持ち帰り学習の取組を推進しました。今後もGIGAスクール構想の充実に向けたICT環境の利活用を着実に実施していきます。

社会教育関連事業については、生涯学習課及び地域公民館を中心に乳幼児から高齢者まで各世代を対象とした学習機会の確保に努めました。また、成人式を「はたちを祝う式典」として開催して2年目を迎え、新たに式典対象者の中から企画委員を募集し、式典内容について企画・意見を出し合い、その内容を式典に反映する取組を行いました。文化芸術事業では、令和5年3月に策定した「京丹後市文化芸術振興計画」をより具体的に進めるため、「京丹後市文化芸術のまちづくり推進会議」を立ち上げるとともに、新たな取組として「アートフェスティバル2023」を開催し、学びや体験を通して創作や表現をすることの楽しさを体得できる機会を提供しました。社会体育関連事業では、第2次スポーツ推進計画の中間見直しを行い、令和9年度までの取り組むべき施策を明らかにし、基本目標及び取組の内容を具体的に示しました。各種スポーツ大会の実施により、市民のスポーツ機会を創出するとともに、スポーツ環境の整備や、（一社）京丹後市スポーツ協会が本格的に運営を開始するなど社会体育団体支援にも積極的に取り組みました。

文化財関係では、令和4年度に策定した今後の文化財の保存・活用の方向性を示す「京丹後市文化財保存活用地域計画」を実行していく年として、課名を文化財保存活用課とし、併せて「歴史文化都市」を宣言しました。また、網野銚子山古墳の令和6年度末までの整備に向け、市史跡整備検討委員会及び文化庁等の指導を受け、実施設計及び環境整備工事を実施しました。

このように、令和5年度は、保幼小中一貫教育を手段とした教育の質の転換、子ども放課後対策や子育て支援、学校適正配置の取組、グローバル人材育成の推進、学習環境の整備、生涯学習・スポーツ振興の推進、文化財保存活用の検討、施設の改修整備など本市の懸案となっている課題の解消に向けてさらなる取組を進めてきました。本市教育振興計画の「京丹後市が目指す教育」の達成に向け、今後もさまざまな教育活動を推進していきます。

令和6年11月

京丹後市教育委員会

【教育に関する学識経験者の意見】

教育に関する学識経験者の意見

1 外部評価者 職名 京都教育大学大学院連合教職実践研究科 教授
氏名 竺沙 知章
令和6年10月11日（評価を行った日）

2 序論

令和5年度では、前年度に引き続き、京丹後市教育振興計画の基本理念に基づき、京丹後市が目指す教育「心豊かにたくましく 幸福な未来を切り拓く力を育む教育」「ふるさとへの愛着と誇りを持ち新しい価値を創り出す力を育む教育」の実現に向け、さまざまな教育施策が推進されてきた。さらに、「京丹後市の新たな教育・人材育成の在り方に関する検討会」が設置され、将来を見据えた新たな教育・人材育成のあり方について精力的に議論が展開され、報告書がまとめられた。令和5年度は、京丹後市にとって新たな挑戦に向けて一步を踏み出した年度になった。

本意見書では、「教育委員会活動の点検及び評価報告書」（以下、「報告書」）を主として分析し、また各種の資料や教育委員会会議と総合教育会議の議事録も参照しながら、令和5年度に取り組まれた事業について、外部者の視点から意見を述べることにしたい。

3 主な施策等の成果と課題

（1）教育委員の活動について

教育委員会会議は、12回の定例会議と5回の臨時会議が開催されていた。重要な議題について、活発な意見交換がなされていたと思う。特に印象に残ったのは、「こども未来課」が市長部局の「こども部」に移行されることに伴う条例等の改正について、これまで保幼小中一貫教育など子どもに関わる施策を教育委員会が一体的に取り組んできたことに影響が出ないのか、重要な質疑がなされていたことである。国の行政体制の再編に連動したものと思われるが、市長部局と教育委員会との連携をしっかりと取りながら、こどもに関わる施策がより充実したものになるとともに、保幼小中一貫教育の発展にもつながることを期待したい。

総合教育会議は3回開催された。令和4年度の第3回の会議と令和5年度の3回の会議では、いずれも「京丹後市の新たな教育・人材育成の在り方に関する検討会」での議論が議題として取り上げられており、京丹後市において新たな教育・人材育成のあり方が令和5年度の最重要課題であったことがよく理解できる。またいじめ、不登校についても丁寧な議論がなされていたし、予算について協議がなされていたことは重要である。教育委員会会議では十分に掘り下げられない問題を、総合教育会議において市長も交えてしっかりと議論されていることは、地方の教育行政のあり方として重要なことであると思う。

（2）重点目標に関する活動について

1）保幼小中一貫教育の推進について

保幼小中一貫教育の成果は、「学校評価自己評価」の報告書によく表れている。特に各学園の評価書が充実しており、各学園の取組、その成果と課題が詳細に記述されている。組織的に教育に取り組んでいることがよく示されていると思う。保幼小中一貫教育の今後の展望を考える時、「京丹後市の新たな教育・人材育成の在り方に関する検討会」の報告書で提起された新たな人材育成をどのように進めていくかという問題意識で取り組みを進めていくことが必要になる。それは、各学校園での教育に関わる研究開発であり、その実践ではないかと思う。「学校評価自己評価」の報告書は、研究開発の報告書のようなものになることが期待される。今後は、新たな教育に向けて様々な取り組みにチャレンジしてもらいたいし、そのための研究に取り組むことが基本となるような学園を目指していただきたい。

2）確かな学力の育成

教育振興計画の目標指標は、来年度が最終年となり、目標が達成できたかどうか気になるところであろう。問題は、目標を達成できたかどうか、その結果やその要因だけでなく、その目標自体が適切であったかどうか、またそもそもどのようなねらいでそのような目標を設定したのか、その意図を改めて考え、次の計画につなげていくことが必要であると思う。例えば、「学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の児童（生徒）の割合」は、これを目標とした指導をしてしまったら、この目標の意味は失わせることになるのではないか。子どもが自ら学ぼうとすることを期待してのことであるはずで、学校教育の結果として、子どもの自主性が涵養されることを目標にしていたのではないか。家

庭で勉強させる方策を考えるのではなく、子どもがもっと自分で勉強してみたいと思わせるような教育を目指す必要があるように思う。子どもの勉強はもっと自由でなければ意味がないはずで、学校での勉強の延長を期待していると、子どもの学ぶ機会を奪うことになりかねないと思う。

3) 社会を生き抜く力の育成について

「グローバル人材育成事業」の取り組みは、令和4年度に引き続き、非常に充実していて注目される。異文化理解・国際交流の体験、英語力の向上に向けて、様々な取組がなされていて、その成果がやがては実を結ぶのではないかなと思わせるものがある。オンライン留学、海外派遣は、中学生の時期にその経験を飛躍的に広げるもので、生徒の成長を促す重要な取り組みだと思う。

Kyotango Sea Labo は、2年目で大きな成果が得られたように思う。英語によるコミュニケーション、デザイン思考、そして地元の企業の方々との交流というこれまでの学校教育では取り組むのが難しい活動がしっかりと展開され、その結果、短期間でも生徒は成長し、成果を上げることができるということを証明したと思う。限界をつくることなく、挑戦することの必要性を感じさせるものになったのではないかな。

上記の取り組みの多くは、参加者がまだ限定的であることから、徐々にでもその数を増やし、拡大させていくことが今後の課題となるであろう。

4) 生徒指導体制、教育相談体制の充実について

いじめ、不登校の問題は、総合教育会議で常に議題とされており、市の重要な課題として認識されている。いじめについては、認知件数の推移は重要な指標ではあるが、認知できていれば、対応はできるのであり、重大な事案の場合は迅速な対応が求められるが、いじめ問題の深刻さは、教師側が認知できないいじめである。その可能性を念頭に、いじめなどのトラブルを回避したり、解決したりできる力を子どもにいかに身に付けさせるか、学校教育の重要な課題である。不登校については、総合教育会議でも話題になっていたように、その減少や解消を目標とする取り組みでは対処しきれない状況になっており、新たな段階に移行し、新たな発想で取り組んでいくことが課題となるであろう。それは、生徒指導、教育相談の範疇には収まらない課題として認識する必要があるであろう。次期の教育振興計画においてどのような目標を設定すべきか、重要な課題となる。

5) 生涯学習の体制づくり

市長公室の事業だが、新たな地域コミュニティ推進の取り組みが注目される。推進大会の報告書を見ると、若者グループの活性化をテーマにした報告があった。参加者の評価が最も高い報告でもあった。こうした取り組みには、中高生を参加させるべきだと思う。中高生を地域の担い手として認めていくことが、京丹後市の将来を考える上で欠かせないことではないかなと思う。それが十分に可能であることは、Kyotango Sea Labo が証明しているはずである。結果として、生涯学習の体制づくりにもなると思うので、その取り組みについて検討していただきたい。

4 総括

教育振興計画に基づき、事業として取り組むべきことが着実に進められていると思う。計画期間は令和6年度が最終年度になることから、次年度はこの5年間ないしは10年間の総括をする必要があるであろう。目標が達成されたかどうかというよりも、社会の変化が著しい昨今の状況の中で、その変化にどれほど柔軟に対応できたかという視点が重要であると思う。

5 総合評価

「京丹後市の新たな教育・人材育成の在り方に関する検討会」は、国際的に活躍されている優れた専門家と京丹後市の企業、保護者、学校の校長というグローバルな人材とローカルな人材とで構成されており、その両方の視点がうまくかみ合い、有意義な議論が展開された会議であった。そして検討会の報告書は、市民に向けた提案になっていたと思う。行政の会議でありがちな文章のみの報告書ではなく、また概要としてコンパクトにまとめたものでもなく、非常にわかりやすい、しかも工程表も示された行政の計画書としての性格も備わった優れたものを事務局が作成されたと思う。総合教育会議でもそのように評価されていた。令和5年度は、京丹後市の教育行政が新たなステージに入った画期的な年度として記録されるのではないかなと思う。提案されたことがすべてその通りに実現されるかどうかはわからないが、どのような状況になったとしても、何を大事にすべきかは明確になったはずであり、何より、子どもたちの声を受け止め、そのことを後々まで変わらず引き継いでいただきたいと思う。今後の取り組みを期待したい。

教育に関する学識経験者の意見

1 外部評価者 職名 京都文教大学 総合社会学部総合社会学科 教授

氏名 澤 達大

令和6年10月18日（評価を行った日）

2 序論

令和5年度『教育委員会活動の点検及び評価報告書』、ならびに関係部署が発行する各資料に基づき、自己点検評価の点検を行った。令和5年は文化庁が京都へ移転し、京丹後市としても「歴史文化都市」として宣言をした新たな節目の年であったといえる。関係各位のご尽力に改めて敬意を表したい。

評価報告書は、これまで以上に PDCA サイクルを働かせ、社会の変化や住民のニーズ等に合わせた事業の見直しをすることが求められる。そのような観点も含め、以下のとおり意見を論じる。

3 本論

（1）教育委員会の活動状況

定例会・臨時会は昨年度よりやや多い17回開催となったが、議案番号を確認すると、1月以降は昨年度の倍近くの議案が審議されている。さらに委嘱などのルーティン議案以外に、後援については、毎年同様の行事ではなく、年度ごとに内容の変化がみられる。このことは、京丹後市が他地域から注目され、各種の催しが行われている証といえる。地域の魅力発信や活性化につながることであり、今後も継続して積極的に受け入れることが望まれる。

管外視察実施状況については、文部科学省をはじめ関東の教育委員会への視察を行っている。これは、コロナ禍が明けたことだけでなく、国のリーディングDXの研究指定を受けた関係もあると推察されるが、渋谷区や鎌倉市はICTを積極的に活用した先進事例として、有効的であったと思われる。特にAI英会話アプリ（ELSA AI）の情報収集は十分な収穫があったと考えられる。

また、「Kyotango Sea Labo」プログラムも2年目を迎えた。他地域にはないかなり先進的な取り組みであり、STEMの知識で、グローバル人材としての視点を身につけ、京丹後市の未来をデザインする次世代リーダーを育てるきっかけになったと思われる。今後の探究的な学びや丹後学での展開が期待される。

（2）施策評価・進捗管理調書

重点目標5、6における施策進捗状況の自己評価は▲（少し遅れている）であった。計画を設定した当初は想定しなかった新型コロナウイルス感染症の流行や、世界情勢による物価高などの要因があったため致し方ない事情があることを察する。一方で数値目標が達成できている施策もそれだけで満足せず、数値に現れない質的部分の精査をすることが重要である。今後もPDCAサイクルを働かせながら、各事業のよりよい方向性を見極める必要がある。以下、重点目標1、2、4、7について気付いた点を述べる。

<重点目標1 就学前の子どもの教育・保育環境の充実>

目標指標についてはほぼ達成されており、特に「保育所・こども園待機児童数ゼロの継続」は、子育てをしやすい自治体として売り出すためにも、今後も継続したい点である。一方で、保育所・こども園職員の全体研修数を年間5回としているが、目標設定時と比較して働き方改革の必要性もあることから、数値そのものの根拠は何か、再考する必要があると思われる。不可能であるならば、オンデマンド配信による研修と事後アンケートにより両立を図ることは可能であろう。また、園児送迎用バスの安全装置設置については迅速に対応が出来たが、送迎以外で安全装置がない場面における「ひやり・はっと」の事象について現場の声を聞く姿勢を常に持ち続け、保育の場の安心・安全を保障する体制を維持していきたい。

<重点目標2 確かな学力・生き抜く力の育成>

3. 確かな学力の育成について、中学校英語が平均以上となっているが、これはグローバル人材の

育成のためにとられている施策（STEAM 教育の推進、中学校の英語授業補助、小学校の外国語授業及び外国語活動推進等）に一定の効果があったものと推察できる。一方で、目標値の設定に「全国学力調査における全教科での平均以上」としているが、通塾率の高い大都市部と単純に競争をしても無理が生じる可能性がある。無理なく学力向上が図れるよう、英語と数学に力点をおいた目標を立てることが望ましい。また、丹後学のように答えのない課題や問いを突き詰める探究学習を進めることは、先行き不透明な将来の社会に柔軟に対応できる人間を育成することにつながる。深い学びを実現できるよう、児童生徒が常に問いを持ち地域の人々とともに学ぶ教育環境の整備に努めることが必要であろう。

<重点目標 4 豊かな人間性・社会性>

情報機器の適切な使用については、毎年のように新たな SNS が流行したり、AI によるさまざまな弊害が生じたりと、社会問題となっている。最新のデータでは、いじめでもネットワークを介したいじめと対面によるいじめでは傾向が異なることや、SNS (X, インスタグラム等) よりもネットゲームにおけるいじめが 10 代では増加しているという報告もある。それらの現状を知るためには、専門家よりも高校・大学生等の現役世代とのグループワーク等を用いた啓発の方が、児童生徒の実態に応じた具体的な指導としてはふさわしい場合もある。いずれにしても一般的に教員は日常業務に追われてネットワークを必要以上に使用しないため、関係情報の入手が難しい。そのため、今後も適切に外部有識者やボランティア等と連携することが求められるであろう。また、いじめ相談専用電話を設置し相談件数は 0 件となっているが、現代の若い世代は電話をほとんどしないことが背景にあることを考慮すべきである。いじめを相談する最初の入口としては、ややハードルが高く実態に合わないため、早急に対応する必要があると思われる。

<重点目標 7 たくましく健やかな体づくりと生涯スポーツを推進>

長寿社会を実現するため、高齢世代が社会で元気に活躍するためには、毎日の運動の継続が欠かせない。引きこもりをせず気楽に外出し運動するしくみづくりを今後も継続していくことが求められる。この点は健康推進課で取組む「Let's チャレンジウォーキング」との連携をはかり、運動した（体育館に行った等の）ポイントが何らかの形に還元できるようなシステムを導入することも検討できるであろう。スポーツも従来のボールゲーム等にとらわれずニュースポーツを普及することは、1 日の運動機会を増やすことにもつながる。また、学校適正配置により学区が広がりスクールバスを利用すると、子どもたちの運動能力が落ちることも考えられるため、今後は生涯スポーツに向けた取組みも必要になるであろう。

(3) 学校評価自己評価

全国的に増加している不登校について、多くの学校で課題とされている。コロナ禍が明けて、一定期間に対人関係を築く経験がない、学校行事における様々な経験（成功体験も、些細な人間関係トラブルを含む失敗体験）がない等、成長期において必要とされる経験が欠如していることを考慮して児童生徒指導にあたる必要があると考えられる。

4 総括

自己点検評価について、参考となる客観的資料が多く、詳細な内容まで網羅されている点は、関係部署の皆様の努力の賜物と感じられる。引き続き改善の視点を持ち続けてほしい。

5 総合評価（意見等）

「京丹後市の新たな教育・人材育成の在り方に関する検討会」の報告を拝見すると、他の自治体に見られない画期的な事業計画が見受けられる。今後の各施策の取組みに期待したい。

I 教育委員会の活動状況

I 教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の開催状況（令和5年4月～令和6年3月）

教育委員会議は、毎月1回「定例会」を、また必要に応じて「臨時会」を開催し、令和5年度は合計17回開催しました。

- (1) 教育委員会定例会・・・ 12回
- (2) 教育委員会臨時会・・・ 5回

○令和5年度 教育委員会審議案件等一覧

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
令和5年4月3日	4月 定例会	29	京丹後市学校適正配置基本計画実施方針の策定について
		報告6	京丹後市立学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について
		報告7	京丹後市立こども園・保育所内科医、歯科医及び薬剤師の委嘱について
		報告8	京丹後市スクールガード・リーダーの委嘱について
		30	京丹後市文化財保存活用地域計画推進協議会設置要綱の制定について
		31	谷垣雄三医師ご夫妻顕彰展の開催に係る後援について
		32	専決処分の承認について（京丹後市定住促進奨学金返還支援補助金交付要綱の一部改正について）
		報告9	「歴史文化都市宣言」について
令和5年5月1日	5月 定例会	33	安達朋博ピアノリサイタルの開催に係る後援について
		34	令和5年度京都府グラウンド・ゴルフ協会春季北部大会（兼）第3回グランプリ大会予選会の開催に係る後援について
		報告10	京丹後市学校評議員の委嘱について
		報告11	京丹後市奨学金選考・検討委員会委員の委嘱について
		報告12	京丹後市史跡整備検討委員会委員の委嘱について
		35	京丹後市スポーツ推進審議会委員の解嘱及び委嘱について
		36	京丹後市図書館協議会委員の解任及び任命について
		37	専決処分の承認について（京丹後市臨時休園等に伴う保育料等の特例に関する規則の廃止について）
		38	京丹後市立学校条例の一部改正について
		報告13	京丹後市学校運営協議会委員の委嘱について
		報告14	個人情報の存否を明らかにしない決定等に係る審査請求の裁決について
令和5年6月1日	6月 定例会	39	専決処分の承認について（京丹後市立学校体育施設等の利用等に関する条例施行規則等の一部改正について）
		40	専決処分の承認について（京丹後市アグリセンター大宮条例施行規則等の一部改正について）
		41	専決処分の承認について（京丹後市自治公民館活動交付金交付要綱の一部改正について）
		報告15	個人情報の存否を明らかにしない決定に係る審査請求の裁決について

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
		42	京丹後市文化財保存活用地域計画推進協議会委員の委嘱について
		43	令和5年度京丹後市青少年健全育成・家庭教育講演会の開催に係る後援について
		報告16	京丹後市教育支援委員会委員の委嘱について
		報告17	京丹後市学校給食献立作成委員会委員の委嘱について
		報告18	京丹後市奨学金選考・検討委員会委員の委嘱について
		44	京丹後市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び京丹後市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
令和5年7月10日	7月定例会		教育長職務代理者の指名について
		45	京丹後市文化芸術振興審議会委員の解嘱及び委嘱について
		46	京丹後市立学校管理運営規則の一部改正について
		47	京丹後市立学校通学区域規則の一部改正について
		48	京丹後市就学前からの保幼小中一貫教育の円滑な実施に係る保育所、認定こども園及び学校の総称に関する規則の一部改正について
		49	京丹後市教育委員会公印規程の一部改正について
		50	ECHOあしたの畑一丹後・城崎の開催に係る後援について
		51	作って食べよう カートンドッグの開催に係る後援について
		52	伝説の里・羽衣音舞台の開催に係る後援について
		53	目指せ！ぶどうの目利き名人の開催に係る後援について
		報告19	京丹後市教育振興計画進捗管理について
		54	京丹後市保幼小中一貫教育研究推進協議会設置要綱の一部改正について
		55	京丹後市保幼小中一貫教育研究推進協議会委員の委嘱について
		56	専決処分の承認について（京丹後市史跡整備検討委員会委員の委嘱について）
		57	丹後夜の市2023の開催に係る後援について
		58	わくわく子ども大学染色教室の開催に係る後援について
		59	令和5年度「ECHO あしたの畑一丹後・城崎」企画展示の開催に係る共催について
		60	京丹後の森アートキャンプ2023『BE いきものがたり』の開催に係る後援について
		報告20	教育委員会事務局職員の処分について
令和5年8月1日	8月定例会	61	ここで見つける君のフィールド！～探そう！できそう・楽しそう！ファミリーキャンプ～の開催に係る後援について
		62	京都府中学校教育研究会 国語科研究大会の開催に係る後援について
		報告21	公益財団法人京丹後市公園緑化事業団の経営状況について
		報告22	公益財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について
		報告23	京丹後市と京都サンガF.C.のホームタウン加入にかかる京丹後市と株式会社京都パープルサンガとの協定締結について

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
		63	アーティストがあたりまえにいるまちの開催に係る後援について
令和5年8月22日	8月 臨時会	64	令和6年度使用京丹後市立小学校教科用図書の採択について
		65	令和6年度使用京丹後市立中学校教科用図書の採択について
		66	小西区地域活性化事業の開催に係る後援について
		報告24	財産の取得について（京丹後市立網野学校給食センター整備事業厨房機器購入（専用厨房機器））
		報告25	財産の取得について（京丹後市立網野学校給食センター整備事業厨房機器購入（その他厨房機器））
		67	京丹後市文化財保存活用基金条例の制定について
		68	京丹後市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
		69	京丹後市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
		70	京丹後市子ども未来まちづくり審議会条例等の一部改正について
		報告26	京丹後市立網野学校給食センター整備工事（建築主体工事）請負契約の締結について
		報告27	京丹後市立網野学校給食センター整備工事（電気設備工事）請負契約の締結について
		報告28	京丹後市立網野学校給食センター整備工事（機械設備工事）請負契約の締結について
令和5年8月23日	8月 臨時会	71	議案第70号の修正について
令和5年9月5日	9月 定例会	72	子どもたちに食×アートの体験を提供する芸術文化教育事業の開催に係る後援について
		73	防災キャンプ教室 i n 丹後王国食のみやこの開催に係る後援について
		74	三津のちいさな芸術祭の開催に係る後援について
		75	人権講演会「実は、私…～20年間で感じた苦悩と多様性～」の開催に係る後援について
		報告29	「京丹後市立学校教員に対する苦情申立書（生徒指導主任に関して）」及び「京丹後市立学校教員に対する苦情申立書（学年主任に関して）」への対応 について
令和5年10月2日	10月 定例会	報告30	京丹後市文化財保存活用地域計画推進協議会委員の解嘱及び委嘱について
		76	京丹後市文化芸術振興審議会委員の委嘱について
		77	TANGOまるっば美術館の開催に係る後援について
令和5年11月1日	11月 定例会	78	令和4年度教育委員会活動の点検及び評価報告書について
		79	京丹後市立保育所条例施行規則等の廃止について
		80	京丹後市立保育所及び認定こども園延長保育事業実施要綱等の廃止について
		81	京丹後市立学校体育施設等の利用等に関する条例及び京丹後市社会体育施設条例の一部改正について
		82	京丹後市社会体育施設条例施行規則の一部改正について
		報告31	内部通報に係る審査請求について
		報告32	個人情報部分開示決定取消等請求事件に係る訴訟について
令和5年12月1日	12月 定例会	83	スイス村感謝祭 雪だるま積み大会の開催に係る後援について

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
		84	令和5年度京都府文化芸術体験機会創出事業 政本憲一プロデュース「政やの太鼓祭～京丹後2024～」の開催に係る後援 について
		報告33	公文書公開決定に係る審査請求について
令和6年1月4日	1月 定例会	1	京丹後市教育委員会事務委任規則及び京丹後市教育委員会職員補職名規則 の一部改正について
		2	京丹後市教育委員会公印規程の一部改正について
		3	京丹後市教育委員会における障害を理由とする差別の解消の推進に関する 職員対応要領の一部改正について
		4	京丹後市家庭子ども相談室設置規則の一部改正について
		5	京丹後市放課後児童健全育成事業実施条例施行規則の一部改正について
		6	京丹後市要保護児童対策地域協議会設置要綱の一部改正について
		7	京丹後市ファミリー・サポート・センター事業実施要綱の一部改正につい て
		8	京丹後市保育事業者選定委員会設置要綱の一部改正について
		9	語り部動画発表会開催事業の開催に係る後援について
		10	京丹後市市民遺産制度実施要綱の制定について
		11	京丹後市文化芸術のまちづくり推進会議設置要綱の制定について
		12	令和6年度全国学力・学習状況調査の実施について
		報告1	内部通報に係る不作為に対する審査請求の裁決について
令和6年2月1日	2月 定例会	13	京丹後市教育振興計画策定委員会委員の委嘱について
		14	専決処分の承認について（京丹後市公民館条例施行規則等の一部改正につ いて）
		報告2	公文書公開決定に係る審査請求の裁決について
		15	令和6年度「学校教育指導の重点」について
		16	令和6年度「社会教育推進の重点」について
		17	京丹後市市民遺産会議委員の委嘱について
令和6年2月14日	2月 臨時会	18	令和6年度教育委員会関係予算について
		19	京丹後市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準 を定める条例の一部改正について
		20	京丹後市文化財保護条例の一部改正について
		21	JCカップU-11少年少女サッカー全国大会京都予選大会の開催に係る後援に ついて
令和6年2月28日	2月 臨時会	22	令和6年度京丹後市立学校教職員の管理職人事異動内申について
		23	令和5年度スポーツ協会講演会及びバレーボール教室の開催に係る後援に ついて
令和6年3月13日	3月 定例会	24	令和6年度京丹後市立学校教職員の一般職人事異動内申について
		25	京丹後市教育委員会職員補職名規則の一部改正について
		26	京丹後市立学校管理運営規則の一部改正について

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
		27	京丹後市就学援助に関する規則の一部改正について
		28	京丹後市教育支援センター設置規則の一部改正について
		29	京丹後市立学校記念誌発行補助金交付要綱の制定について
		30	京丹後市教育相談事業実施要綱の一部改正について
		31	京丹後市立学校評議員設置規程の一部改正について
		32	京丹後市学校教育連携専門部会設置規程の一部改正について
		33	京丹後市スポーツのまちづくり推進本部設置規程の一部改正について
		34	2024年度北丹陸協はごろもクラブ活動実施事業の開催に係る後援について
		35	2024年度北丹陸協長距離記録会（第1回・第2回）の開催に係る後援について
		36	2024年度北丹陸協小学生記録会の開催に係る後援について
		37	令和6年度京都府グラウンド・ゴルフ協会 丹後・与謝ブロック交歓大会の開催に係る後援について
		38	SUP2024ジャパンオープン兼JCF日本代表選手選考会の開催に係る共催について
令和6年3月21日	3月臨時会	39	令和6年度京丹後市教育委員会事務局職員の人事異動について
		40	京丹後市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
		41	京丹後市教育委員会公印規程の一部改正について
		42	第2次京丹後市スポーツ推進計画＜令和5年度改定版＞について
		43	京丹後市スポーツ推進委員の委嘱について
		44	行政財産の用途廃止について
		45	京丹後市家庭子ども相談室設置規則の廃止について
		46	キッズプログラミング体験&マネー講座の開催に係る後援について
		47	京丹後市指定文化財等補助金交付要綱の一部改正について

2. 教育委員会委員の主な活動

- (1)管内視察実施状況 2箇所(かぶと山こども園、清新高等学校)
参観や懇談の中で、各施設の教育実践及び課題等に向けた取組みの理解を深めることに努めました。
- (2)管外視察実施状況 4箇所(デジタル庁、文部科学省、鎌倉市教育委員会・鎌倉市立御成中学校、
渋谷区教育委員会・渋谷区立笹塚小学校)
・グローバル教育の実践(外国語教育の推進など)や、課題解決に向けた教育実践(STEAM教育など)等について
- (3)教育委員協議会開催状況 4回
・京丹後市都市拠点構想について
・京丹後市の新たな教育・人材育成の在り方に関する検討会中間報告について
・こども家庭センターの設置について
・令和5年度全国学力・学習状況調査結果について
・英語力向上アプリ「ELSA Speak」の「ELSA AI」について
・令和5年度京丹後市立学校勤務府費負担教職員ストレスチェック実施結果について
・第2次京丹後市スポーツ推進計画の見直しについて
- (4)総合教育会議 3回
京丹後市の新たな教育・人材育成の在り方に関する検討会の設置について、令和4年度「いじめ・不登校の状況」について、京丹後市の新たな教育・人材育成の在り方に関する検討会最終まとめ(案)及び令和6年度予算案の検討状況について市長と協議・意見交換を行いました。
- (5)各種研修会・視察の参加 5回
文部科学省、京都府教育委員会連合会等が主催する研修会等(オンライン開催含む)に積極的に参加し、教育行政の諸課題について情報提供を受けました。

月	月 日	件 名	場 所
4月	5. 4. 5	市内保育所入所・進級式	市内各保育所
	5. 4. 6	市内認定こども園入園・進級式	市内各認定こども園
	5. 4. 7	市内小学校入学式	市内各小学校
	5. 4. 10	市内中学校入学式	市内各中学校
	5. 4. 12	第1回校(園)長、保育所長会議	大宮庁舎
5月	5. 5. 12	令和5年度丹後地方教育委員会連合会定期総会	宮津市福祉・教育総合プラザ
	5. 5. 31	京丹後チャレンジデー2023	京丹後市内
	5. 5. 31	令和5年度京都市町村教育委員会連合会定期総会・研修会 講演 『当面の教育課題について』 講師 京都府教育庁 管理部長 仲井宣夫氏	京都府総合教育センター
7月	5. 7. 10	教育委員任命通知書交付式(野木三司委員)	京丹後市役所
10月	5. 10. 23	令和5年度丹後地方教育委員会連合会教育委員等視察研修	京都市立開建高等学校 京都府立京都学・歴彩館
11月	5. 11. 7	令和5年度近畿市町村教育委員会研修大会 (1) 講演 演題『先生のゆとりと充実は子どもの輝きに直結 ～学校の働き方改革～』 講師 (株)先生の幸せ研究所 代表取締役 澤田真由美氏 (2) 実例発表 テーマ『教育委員会にできる学校の働き方改革』 発表者 大阪府枚方市教育委員会 教職員課長 高山和子氏 (株)先生の幸せ研究所 代表取締役 澤田真由美氏	大宮庁舎 (オンライン開催)
	5. 11. 13	令和5年度京都市内市町(組合)教育委員会研修会 講演『生涯にわたる心身の健康の土台は「こども期」につくられる ーヒトの育ちを科学の視点で理解するー』 講師 京都大学大学院教育学研究科 教授 明和政子氏	京都テルサ
	5. 11. 22	令和5年度いじめ防止講演会 テーマ『いじめを見つけ予防するためのこころみ ～ Connect Hearts Program ～』 講 師 (株)マモル 代表取締役社長 くまゆうこ氏	アグリセンター大宮

月	月 日	件 名	場 所
11月	5. 11. 24	令和5年度丹後地方教育委員会連合会委員等研修 講演『ICTを活用したこれからの授業の在り方と国・京都府の今後の施策』 講師 京都府教育庁 学校教育課長 中村義勝氏	宮津市福祉・教育総合プラザ
1月	6. 1. 21	令和5年度京丹後市教育フォーラム 行政説明『「令和5年度 学校教育 指導の重点」、「Kyotango Sea Labo」について』 対談 「Kyotango Sea Labo」をとおして考える「探究的な学び」やSTEAM教育 ゲスト ヤング吉原麻里子氏	アグリセンター大宮
3月	6. 3. 15	京丹後市立中学校卒業式	市内各中学校
	6. 3. 17	令和6年京丹後市はたちを祝う式典	京都府丹後文化会館
	6. 3. 21	京丹後市立小学校卒業式	市内各小学校
	6. 3. 22	京丹後市立認定こども園卒園式	市立各認定こども園
	6. 3. 23	京丹後市立保育所修了式	市立各保育所